

9月17日開園

六郷わくわく園新園舎

六郷わくわく園新園舎落成式

六郷幼稚園・保育園（六郷わくわく園）の新園舎が完成したことに伴い、9月7日に新園舎で落成式が行われました。新園舎は美郷中学校の南側に建設。「秋田の木・利用促進木造公共施設等整備事業」を活用し、秋田杉などの木材をふんだんに使用した造りになっています。

落成式には松田町長や町議会議員、教育委員など関係者約60名が出席。松田町長は「子どもたちが心豊かに伸び伸びと成長するよう頑張っていく。地域や保護者、園児に愛される園舎となるようお力添えをお願いしたい」とあいさつしました。その後、工事概要報告を受けた出席者たちは、木の香りが漂う新園舎を見学しました。

一般の方にも新園舎に触れてもらおうと、9月8日には新園舎の内覧会を開催しました。地域の方や保護者、園児など約400名が訪れて、職員の説明を受けながら園内を見学。新園舎を初めて訪れた園児たちは「広くてきれい」と喜びながら園内を駆け回るなど、新園舎での生活に胸を躍らせている様子でした。



空き校舎活用に係る契約締結式

学校の統廃合により空き校舎となった3小学校を企業用施設として貸し出すため、応募のあった3企業が出席し、8月30日に役場庁舎で空き校舎活用に係る契約締結式が行われました。



締結式には松田町長のほか、旧金沢小学校を利用する三共光学工業株式会社（東京都）の萩原達俊代表取締役、旧仙南西小学校を利用する大同衣料株式会社（大仙市）の佐々木祐太代表取締役、旧六郷東根小学校を利用するENE X株式会社の細井友亨代表取締役らが出席。町議会議員や教育委員などが見守る中、松田町長と3企業の代表者はそれぞれの契約書に署名し、がっちりと握手を交わしました。

契約締結後、松田町長は「学校とは地域に愛され、地域に根差した施設。その特殊性を受け止め、地域活性化の拠点として機能するよう活用してほしい」とあいさつしました。

今後は、三共光学工業は光学レンズ製造の開発部門の拠点として、大同衣料は衣料品の保管庫として、ENE Xは地下水熱ヒートポンプシステムの組立工場として、空き校舎を活用していくこととなります。

思いやりの輪を
広めよう

JAL美郷「思いやりの教室」

9月11日、仙南小学校でJAL美郷連携プロジェクトによる「思いやりの教室」が開催されました。本教室は、日本航空株式会社（JAL）と東京ディズニーリゾートを運営する株式会社オリエンタルランドが共同企画し開催しているもので、今回は、町とJALとの連携協定に基づいて実施されました。

講師を務めたのはJALの客室乗務員の齋藤明菜さんと、オリエンタルランドのキャストの園田千佳子さん。仙南小学校の3・4年生約130名が参加し、思いやりの大切さを学びました。

齋藤さんは、客室乗務員の心構えとして「あいさつ、笑顔、心配り、話し方、立ち居振る舞い」の五つのポイントを紹介。児童らに笑顔やおじぎの仕方などを伝授し、「思いやりは特別な気持ちではなく、一人ひとりが持っている温かい気持ち。今日学んだことを生かして、思いやりの輪を広げてほしい」と期待を込めました。

園田さんは二つの絵を見比べる間違い探しゲームや、キャラクターの絵を使った連想ゲームを行い、観察力や想像力を磨いて相手の気持ちを読み取るコ

ツを紹介。「ディズニーリゾートでは、困っているお客さんがいないか常に注意を払いながら働いている。皆さんも困っている友達がいたら、声を掛けて助けてあげてほしい」と思いやりの大切さを訴えました。



美郷町農業委員会が事例を報告

平成25年度東北・北海道農業活性化フォーラム

8月29日に宮城県名取市文化会館において「平成25年度東北・北海道農業活性化フォーラム」が開催され、美郷町農業委員会（渡邊調会長）からは8名が参加しました。本フォーラムは、東北・北海道の各地から1,600名を超える農業委員が参加して、農業委員会が担うべき役割を再認識し今後の農業委員会活動の強化を図るため毎年開催されています。

基調講演後に行われたパネルディスカッションでは、渡邊会長が登壇し、『美郷町の「人・農地プラン」と農業委員活動について』と題して活動事例を紹介。美郷町全域を一つの地域とする「人・農地プラン」の作成に関係した農業委員の活動状況や「人・農地プラン」を活用した法人設立における農業委員の活動について報告を行いました。



あなたの農地は大丈夫？

農地集中パトロールを行いました

8月9日に農業委員の皆さんが町内の農地パトロールを行いました。集中パトロールは、農地についての農業委員の判断基準の統一を図り、今後の農地の遊休化対策等について協議するために実施しています。農地が遊休化すると雑草が生い茂り病害虫発生の原因となるなど、隣接地の耕作者に多大な迷惑をかけることとなります。遊休化した農地は簡単に復元することが難しくなりますので、農地の所有者や耕作者の方は適切な農地管理をお願いします。

